

革新の風 FAX ニュース 718号

2019年 1月 22日 全国革新懇事務室

TEL 03-6447-4334 FAX 03-3470-1185

Eメール zenkoku@kakushinkon.org

小田川義和全労連議長（代表世話人）は、総がかり、市民連合での議論状況もふまえて「市民と野党の共闘」の発展の課題について特別報告しました。このなかで市民連合と国民民主党の関係、連合の動向、市民連合での政策論議、候補者調整をめぐる特徴的な動き、革新懇に期待する役割などを説明しながら、全労連の参議院選挙方針の発展について報告、「統一候補が実現した選挙区では、その候補者への支援決議を地方組織・地域組織にとどめず、単組・支部レベルでも上げ、投

市民と野党の本気の共闘へ 革新懇の力を発揮しよう

革新懇運動と組織づくりの発展を 都道府県革新懇事務室長学習交流会開く

全国革新懇は20、21の両日、神奈川・箱根で「都道府県革新懇事務室（局）長合宿学習交流会」を開催しました。この会議は、①参院選をみすえ、「市民と野党の共闘」を発展させる、②「本気の共闘」を支える「本気の革新懇づくり」を一目的にしたもので、都道府県革新懇事務室（局）長、次長、全国革新懇役員ら61人が参加しました。

関本立美代表世話人の司会で開会し、牧野富夫代表世話人が開会あいさつ、「重大な情勢のもと開かれる会議であり、遠慮ない議論を」とよびかけました。

乾友行全国革新懇事務室長が「報告と問題提起」をおこないました。

このなかで、革新懇運動の持つ三つの力（政策、組織、草の根組織）の発揮がいよいよ重要と強調。「野党は共闘」を求める市民がどういう声をあげるか”も問われているとして、運動の方向、力点や留意点について提



起、「市民と野党の共闘」の発展のなかで、①市民と政治・政党、②市民と選挙のかかわり、③賛同団体と政治・選挙のかかわりに発展があり、新しい条件があることを指摘しました。「未踏の領域」であり、「地方の条件は千差万別」なので、大いに議論しようとしてよびかけました。

票呼びかけや支援をおこなう」「1政党の公認候補者が統一候補となる場合でも、安倍改憲阻止を投票基準に、複数政党の合意にもとづく統一候補であることをふまえ、擁立した候補者の当選をめざす」などと説明しました。



日本共産党の赤嶺政賢衆院議員は、全国の革新懇が沖縄連帯をたたかっていることに感謝をのべ、「本土と沖縄の連帯した闘いの発展を考える」と題して特別報告。政府の土砂投入の暴挙が、かつてない沖縄と本土での怒りのひろがりを見せていること、「普天間基地の解決のための「辺野古唯一」論」は破たんしていることなどを詳しくのべ、オール沖縄は県民の長いたたかひの積み重ねで生まれてきたものであり、安保体制と沖縄県民の矛盾との格闘のなかでつくりあげられてきたことを強調し、県民投票の成功を訴えました。

政治学者の五十嵐仁全国革新懇代表世話人は、統計不正問題、沖縄、消費税など8分野での破たんをあげ、「安倍首相は八方ふさがり」の情勢について発言。参院選で本気の共闘で大激変大激動を起こそう、「安倍よアバよ」と“五十嵐節”で会場を沸かせました。